



ヨーロッパの街の風景を思わせる 大丸百貨店のカフェテラス (居留地40・41番)

日本のまちかど

# 再び甦ったハイカラな街 神戸居留地

リードし続ける国際都市の風景



開港地とされ、慶応3年(1868年)に開港、神戸港と呼ばれ一躍脚光を浴びることとなります。開港に向けて神戸村の海岸の砂地は埋め立てられ、約26haの土地が基盤状に126に区画され、外国人居留地が誕生しました。近代都市神戸の発祥です。居留地は歩車道が分離され、街路樹を植え、ガス灯をともし、遊歩地には芝生が貼られました。海岸通り

平安期には大輪田泊として中国との交易で、そして江戸期には全国からの廻船の出入りで栄えた兵庫の港。その東にあった神戸村は寒村でしたが、日米修好通商条約(1858年)により函館・横浜・長崎などとともに

には煉瓦や木造のコロニアルスタイルなどの洋館が立ち並ぶなど、欧米の都市のようなまちなみが出現し、東洋一美しい街と賞賛されました。また、当時の外国人が身につけていたシャツの襟が高いことから、ハイカラという西欧的でおしゃれなものを指す言葉もここ神戸から全国にひろがりました。

※3 コロニアルスタイル  
17・18世紀、イギリスやスペイン、オランダなどの植民地(=コロニアル)で流行した建築様式

※1 大輪田泊  
現在の神戸港内にあった古代の港で、日米貿易の拠点ともなった。

※2 廻船  
上方と江戸の消費地を結んだ貨物船

UR都市機構の情報誌・ユーアールプレス

# UR PRESS

vol.22  
Winter  
2010

## CONTENTS

02 日本のまちかど  
再び甦ったハイカラな街 神戸居留地  
リードし続ける国際都市の風景



05 特集対談 **Think Now** 第3回  
阪神・淡路大震災から15年  
いま改めて学ぶ 安全・安心のまちづくりとは  
神戸親和女子大学 教授 上羽 慶市 × 作家 幸田 真音



11 経済講座 第3回  
2010年も日本経済は波乱含み  
ベンチャーと世界技術で再成長へ  
ジャーナリスト 嶋 信彦

13 *TownScope* タウンスコープ 第3回  
1000年の歴史を秘めた絶景——  
海の彼方に富士が浮かぶ 立石の海岸  
俳優・サイクリスト 鶴見 辰吾



15 *Theひと* —日本の技の匠—  
「ものづくり日本大賞」受賞者を訪ねる  
山口を日本のミラノにする——  
デニムファッションコンテストを通して若手を育成  
第2回ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞受賞  
山口県繊維加工協同組合 理事長 岡部 泰民



17 URのしごと  
HAT神戸(神戸東部新都心地区) (兵庫県神戸市)  
三軒茶屋地区 (東京都世田谷区)  
市川市大洲一丁目地区 (千葉県市川市)

21 URからのお知らせ

22 編集後記